

単
元
名

～空を見上げると～

オリジナル星座をつくろう

教科書出版社名 (啓林館)

○ 小学校 (4) 年 教科等 (理科)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

・空には明るさや色が違う星があることを捉え、星に対して興味・関心をもち、星の位置の変化と時間との関係について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現する力。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

・資料の中から必要な情報を見つけ、調べたことから自分の考えを表現する力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…自分が決めた星座の情報 (星の明るさや色、方角、時刻、季節など) を見つける。
- 整理・分析…調べた情報を基にオリジナル星座を考える。
- まとめ・表現・発信…オリジナル星座を交流する。「オリジナル星座図鑑」をつくり、「ちはや星と自然のミュージアム」に置いてもらい、解説員と来館者に読んでもらう。

○ 学習の展開 (全 12 時間) (学校図書館等を活用した時間は☆)

第 1 次	○夏の夜空にかがやく星には、それぞれどんな違いがあるか考える。 ・星座早見表を使うことができるようにし、観察したい星を決めて観察する。 ○星の明るさや色について、気づいたことを話し合う。
第 2 次	○月は時刻とともに動くことについて予想や仮説を発想し、考えを表現する。 ・太陽の動きから考え、月の位置の調べ方を理解して観察する。 ○星の位置の変化を観察の結果から考察し、表現する。 ・時刻によって並び方は変わらないが、位置が変わることを理解する。 (放課後に「ちはや星と自然のミュージアム」から解説員を招き、運動場にて「星を見る会」を実施。)
第 3 次 (☆)	○冬の星も明るさや色に違いがあり、時刻とともに動くかどうかを考える。 ○ゲストティーチャーから、冬の星の話を聞く。 ○自分の決めた星座の情報を見つけ、調べたことから自分の考えを表現する。 ○オリジナル星座を考え、交流し、単元の学習をふりかえる。 ・星に対する豊かな心情と、天体に関する興味・関心をもつ。

(本時 12 / 12 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
 調べた情報をもとに、オリジナル星座を考える。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
2	1. 本時のめあてを確認する。	・調べた星座をもとにしてオリジナル星座を考えることを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;"> 調べた星座をもとにして、オリジナル星座を考えよう。 </div>		
3 3	2. 見つけた情報をもとにして、オリジナル星座を考える。 ・文章と図でオリジナル星座を表す。 ・相手意識をもって、表現できるようにする。	・星の色や季節、方角、見ることのできる時刻、神話など見つけた情報をもとにして考えさせる。 ・考えたオリジナル星座を図鑑にして「ちはや星と自然のミュージアム」へ届けることを伝え、相手意識を持たせる。
5	3. オリジナル星座について交流する。	・星座早見を活用して適宜交流させる。 ・星に対する豊かな心情をもてるようにする。
5	4. 単元の学習をふりかえる。 ・1年間の星や天体の学習で、予想や仮説を立てて観察できたか、分かったこと・おもしろかったことは何かをふりかえる。	・星や天体に対する興味・関心を深められるようにする。

図書館活用ポイント

